

事業者向け 課後等デイサービス自己評価表(中央)

2019年11月実施。
※数字は回答数に対するパーセントです。

		チェック項目	はい	どちらとも いえなし	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	72	28	0	○広場と学習机をバランスよく使えているように思う ○ただし空間を活かしきれていないように思われる ○食事スペース・遊びスペースの明確化など、さらなる工夫が必要
	2	職員の配置数は適切であるか	72	28	0	×送迎の関係でメイン進行が上手くできていないように感じる ×アルバイトも進行してもよいのではないか
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	72	14	14	○一部の机・椅子の修理又は交換が必要。危険。 ×ビル及び室内へ入る玄関部分の段差解消が必要
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	42	58	0	△部屋全体で計画を立てているのかもしれないがチェックはできていないように感じる △管理者及び社員のダブルチェックも必要だと思う
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	57	43	0	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100	0	0	
	7	第三者による外部評価を行い、業務改善につなげているか	42	58	0	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	72	28	0	○シフトもあり、全員参加が難しい。その改善策として動画を使い、確認が好きな時に参加できるよう工夫している
	9	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	58	42	0	
	10	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	42	58	0	

適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	58	42	0	○研修時、職員が交代でプログラムを練り検討している
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	85	15	0	○利用時間に応じて密度の濃い支援ができるよう工夫している △毎日、主となる職員を交代させ独自のプログラム等を行っている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	72	28	0	△タイムスケジュールを作り対応している
	14	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	58	42	0	
	15	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	72	28	0	○朝礼で確認している △全員参加が困難なため(特にバイト)職員→バイトの伝達担当を決め、適宜確認している
	16	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	58	42	0	△全員参加が困難なため(特にバイト)職員→バイトの伝達担当を決め、適宜確認している
	17	日々の支援に関して正しく記録を取ることが徹底し、支援の検証・改善につなげているか	85	15	0	○ケア記録を参考にしている △HUGを使用し、必ずup前に管理者によるチェックを入れ、正しい記録を取るよう努めている △気になる点を記入する欄があり、支援の検証もできるようになっているが、まだ活かしきれていないように思われる
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	58	42	0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	42	58	0	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	42	58	0	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100	0	0	○報告連絡相談が適切にできていると思う
	22	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	42	58	0	・該当児がいない

関係機関 や保護者 との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	58	42	0	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供する等しているか	58	42	0	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	72	28	0	△研修(他機関主催)への参加を増やしたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の無い子供と活動する機会があるか	28	72	0	
	27	(地域自立支援)協議会などへ積極的に参加しているか	14	58	28	
	28	日ごろから子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100	0	0	○ケア記録や送迎を通して伝達が出来ていると思う。 ○現在はHUGで伝達できるようになっているが、閲覧していない保護者も一定数いる。そのような保護者へのフォローがさらに必要と思われる
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか	14	58	28	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	58	42	0	
	31	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	85	15	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14	44	42	
	33	子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	85	15	0	○全員で把握する姿勢が出来ていると思う ○現在は管理者が一元的に対応しているが、小さな苦情もしくは苦情化しそうな内容については他職員が対応し、出来れば解決できるとなお良い。他職員のスキルアップが望まれる。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	42	44	14	
	35	個人情報に十分注意しているか	72	28	0	
	36	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	72	28	0	

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	14	44	42	×そもそも事業所の存在が分かりにくい。看板などの工夫も必要と思われる
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	42	44	14	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	42	58	0	△全員参加ではないが実施されている。今後は不参加が少なくなるような努力が必要と思われる
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	85	15	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	72	28	0	
	42	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	85	15	0	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	58	42	0	